女性部通常総会を開催

ＪＡあきた白神女性部総会が４月11日、ゆとりあ藤里で開かれ、28年度事業報告並びに収支決算や29年度事業計画、役員改選などについて協議し、全４議案を原案通り承認しました。

総会には、管内３支部の役員など約40人が参加。はじめに佐々木博子女性部長が「部員の減少が進んでいるが、女性部の活動として変わることは何もない。女性部として地域貢献、社会貢献することが今後大きな役割になってくる。女性部はまだまだ元気だという姿を地域の方々に知ってもらおう」とあいさつしました。

←あいさつをする佐々木部長

その後協議が進められ29年度事業計画では、①食と農を守る活動の実践、②組織の活性化と部員の加入促進、③ＪＡ運営への女性参画促進強化、④くらしと環境を守る運動の実践、⑤助け合い活動への参加など５項目に取り組んでいくことを誓い合いました。

役員改選では、佐々木博子部長を再任し「女性部、組合員、ＪＡが力を合わせれば何でもできると思う。食農教育や地産地消運動などを通して、女性部員で良かったと思える活動を進めていきたい」と抱負を語ってくれました。

部長を除く役員の方々は以下の通りです。

副部長＝藤原京子、越前谷正子　会　計＝飯坂秀子

監　事＝桂田琴子、簾内喜代子

↑新役員のみなさん

食農教育活動

食の大切さ、食を支える農業の大切さを育てることから知ってもらおうと、能代市立渟城西小学校４年生74人を対象に農業体験学習が４月20日に開講しました。この体験学習はＪＡ営農部近くの畑を利用して年４回行われ、ＪＡ女性部員や能代市農業技術センター職員を講師に、様々な作物の植え付けから収穫までを体験します。

この日は風も強く、肌寒い日でしたが、児童たちの元気な声が畑に響き渡りました。はじめに、佐々木女性部長が植付けを行う農作物の特徴や栽培方法などを説明し、その後、圃場に移り、じゃがいもとねぎの植付けを開始しました。児童たちは、大きなおいしいじゃがいもができることを願いながら丁寧に植えていきました。また、ねぎの定植では、チェーンポット苗を専用機械『ひっぱり君』を使って定植していきました。体験した児童からは「こういう機械で植えているとは思わなかった。ひっぱるのが大変だったけどまっすぐ植えることができてよかった」といった感想が聞かれました。次回は６月上旬を予定しており、かぼちゃとさつまいもの植付けを行います。

→植え方の説明を受けます

→一生懸命植えています

←ねぎの定植にも挑戦